



復興への願いを込めた 第8回 神楽

甲子園が開催されました



ボランティアのみなさん

ありがとうございました!

『高校生による高校生のための神楽甲子園』の理念のもと、場内の清掃や受付、司会などの作業を高校生がこなす神楽甲子園ですが、その陰には多くのボランティアの方々や応援して下さる企業・団体の存在があります。県外から出場する高校生の宿泊先となる民泊としての受け入れ家庭、昨年から新入社員研修の一環として静岡から参加している(株)システックのみなさん、舞台照明をLEDに改修するための費用を寄附して下さったJA広島北部とJA共済連広島県本部のみなさん、その他、多くの方々の協力で今年も無事に開催することができました。

ここ3年は葛巻高校の生徒さんを家に泊めています。遠くからわざわざ来てくれて、うれしい気持ちでいっぱい。家の畑で採れたスイカを振る舞ったら、とても喜んでくれました。私たちににとっては年に1度の恒例行事。これからも元気なうちは、受け入れを続けていきたいです。



民泊受け入れ
佐々木 ゆり子さん

Pick up!

江戸時代から伝わる『牛深ハイヤ節』を披露

熊本県立
牛深高等学校



神楽と同じように地元の郷土芸能の承継に力を注いでいる高校生たちを応援しようと、昨年から設けられた特別出演枠には、熊本県立牛深高等学校の郷土芸能部が出演し、江戸時代から伝わる『牛深ハイヤ節』を披露しました。

観ている観客の方々がとても温かったです。手振りをまねて踊ってくださる方もいて、私たちが楽しませてもらっている感じがしました。私たちが納得のいく舞台が披露できて、部員たちもとても満足しています。舞台の形の違いなど、いろいろな課題もありましたが、全てが良い経験になりました。 部長 桃根 夏生さん



7月28日(土)、神楽門前湯治村で『第8回 高校生の神楽甲子園』が開催されました。復興への願いを込めて開催された今回の神楽甲子園では、会場に義援金受付を設置。出場校からの寄附金も寄せられ、多くの温かな善意が集まりました。合わせて、入場料収入の一部を義援金として被災地に届けます。神楽甲子園は当初、2日間にわたって行われる予定でしたが、29日(日)は台風12号の接近により、参加者や来場者の安全に配慮して中止となりました。28日には27日の前夜祭から参加した高知県立橋原高等学校、岩手県立葛巻高等学校、岩手県立伊保内高等学校、鳥取県立日野高等学校と特別出演の熊本県立牛深高等学校、運営参加の静岡県立遠江総合高等学校の県外6校と県内から4校が参加。生徒たちは県内外から集まった約1200人の観客を前に、日頃の練習の成果を存分に発揮しました。



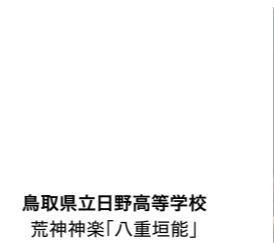
広島県立吉田高等学校
「滝夜叉姫」



広島県立可部高等学校
「土蜘蛛」



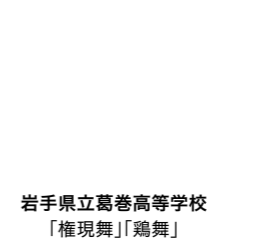
広島県立西城紫水高等学校
「猿田彦の舞」



鳥取県立日野高等学校
荒神神楽「八重垣能」



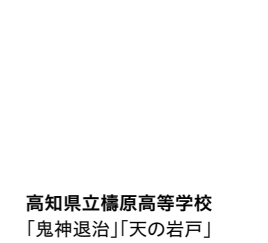
岩手県立伊保内高等学校
「江刺家神楽」



岩手県立葛巻高等学校
「権現舞」「鶏舞」



熊本県立牛深高等学校
「牛深ハイヤ節」(特別出演)



高知県立橋原高等学校
「鬼神退治」「天の岩戸」

静岡県立遠江総合高等学校
(運営参加)